

【三八】 田子町立田子中学校

内容

総合的な学習の時間に、田子町について、自分で課題を設定し、その課題を調査して、レポートにまとめて発表させるという活動を行った。

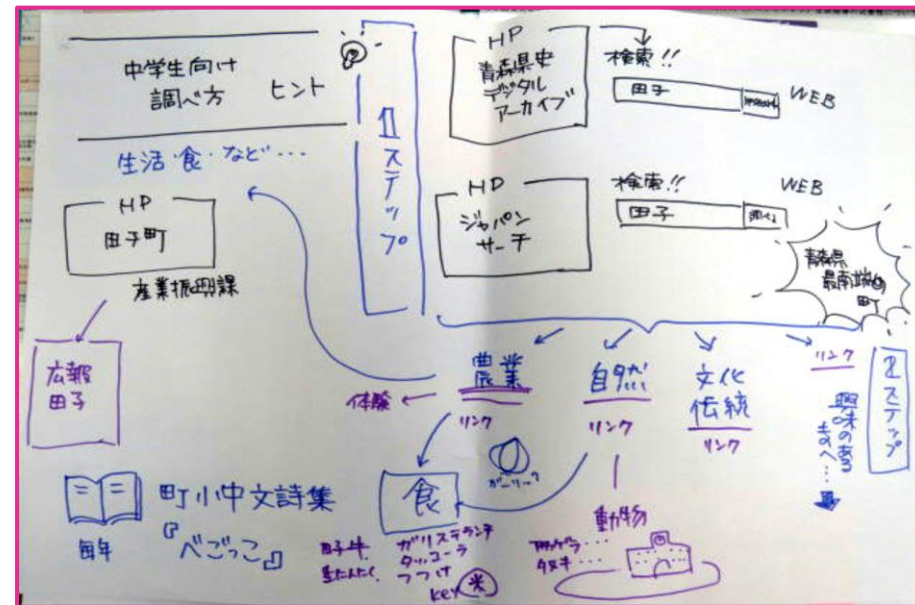
1. 田子町について調べる
2. 田子町について興味がある内容を書き出す
3. テーマを設定する
4. 研究仮説を設定する
5. 研究方法を検討する
6. 調査、まとめ
7. 発表



調べる際、図書室に郷土に関する資料があることを紹介した。また、今回の研修で先生方が調べてくださったパスファインダーを紹介し、インターネットで調べる際は、「青森県史 デジタルアーカイブシステム」や「ジャパンサーチ」などを利用するとよいということを紹介した。

成果と課題

- 調べ方のヒントを与えることで、どうやって調べたらよいか困っている生徒に対しては有効な手段であった。
- 調べようとしていたこと以外にも興味のあることが見付き、友達と楽しそうに共有する場面が見られた。
- 図書室には置かれている資料が限定されていた。時間があれば、町の図書館と連携して、資料をそろえておき、生徒が気軽に調べられるようにしてもよかった。



〈研修会で作成したパスファインダー〉

青森県の方言について

私は県内で使われている方言に、地域や年齢層で差があるのについて調べた。田子町では主に津軽弁が使われている。私は県内、更に田子町内での方言の違いや、年齢層によって方言の使用の有無が違ってくるのを知りたい。町内での方言の違いは、年齢層による違いはあるのかを調査してこれについて調べた。

まず、方言の種類と使用範囲について調べた。あるウェブサイトで青森県には「津軽弁」「下北弁」「南奥弁」の3つの種類があることが分かった。使用地域はそれぞれ津軽弁は津軽地方、下北弁はむつ市・下北郡・上北郡・野辺地町北部、南奥弁は青森県の東部・岩手県の北部及び中部・秋田県の東北部であることが分かった。ここで複数の県内での方言の違いについて、調査を行った。

次に町内の方言について知るために、津軽弁と他の2つの方言を比較してみた。以下がその調査結果だ。

共通語	方言	津軽弁 (津軽方言)	下北弁 (下北方言)	南奥弁 (南奥方言)
私	わ、われ	わ	わ	わ
	おれ、おえ	おれ	おれ	おれ
	おら	おら	おら	おら
	おん	おん	おん	おん
	おん	おん	おん	おん

【津軽弁】私語では「お」を多用する傾向がある。主に男性が使うこと。また、最近では「おん」を使う人は少なくなっている。

【下北弁】川内町市街地(むつ市)・津軽市市街地では「お」を多用する。下北の北端には「おん」を使っているところがある。かつては津軽と下北の境目が、現在の下北東部では「おん」を使う人はあまりいない。

【南奥弁】女性で「おれ」を使う傾向に中高年層。若手、若婦、若妻、山形でも女性がおれを使う。東北地方の方言で使われている。「おれ」は「おれ」・「おれん」・「おれん」とも使われる。

同じ二人称・三人称のことを調べる

共通語	方言	津軽弁 (津軽方言)	下北弁 (下北方言)	南奥弁 (南奥方言)
あなた	おん	おん	おん	おん
	おん	おん	おん	おん
	おん	おん	おん	おん
	おん	おん	おん	おん

【下北弁】南奥弁や津軽弁と比べると「おん」が「おれ」の語に比べて少ない。最近では「おん」を使う人は少なくなっている。

【南奥弁】六ヶ所市市街地では、おれを使う人がおれのおれを使う人が多い。

今回の調査で、地理的範囲や政治体制から県内や年齢層で使用される方言の違いがあることが分かった。田子町については調査することができたため、町内の方言の使われ方について考察している。

出典
 ・青森県の方言を比較してみよう！
 ・Travel Note 南奥弁は津軽・岩手・秋田の一部で使われる方言！
 ・岩手や秋田も二語紹介！
 ・地域・人を知る 方言 | 津軽藩士新聞

〈生徒が作成したレポート〉